ソフトウェア開発におけるチケット駆動開発の調査

プロジェクトマネジメントコース　矢吹研究室　0942038　久保　孝樹

1. 研究背景

近年，ウェブアプリケーションやソーシャルゲームなどのソフトウェア開発プロジェクトでは，開発中に変化していく環境や顧客の要求に柔軟に対応していかなければならない（主語？）．そのため開発プロセスもそのような事柄を考慮したものが求められている．

従来のウォーターフォール型では，要求定義や外部設計，内部設計，開発，テスト，運用などの作業を各工程に分割して実行する．原則として前工程が終了しなければ次工程に進めることができない．顧客の要求の変化や環境への変化に対応していくためには，手戻りをしなくてはならない．そのため，要求や環境が変化すると，必然的にプロジェクトは遅延し，コストは超過する．このような問題の解決策として，アジャイル型の開発プロセスが注目されている．アジャイル型の開発プロセスでは，1回のイテレーションを短い周期で行い，その中で要求定義，開発，テストを行う為，環境や顧客の要求の変化に柔軟に対応することが出来る．

アジャイル型の開発プロセスでは，顧客の要求やバグの修正など，様々なタスクが発生する．それに対応するために，チケットと呼ばれるツールが活用されている．チケットは，すべきことと報告者，担当者，優先度，マイルストーン，種類，状況，コンポーネント，解決法，その他詳細をひとまとめにしてWeb上で共有するための仕組みである．Web上で管理されている為，プロジェクトメンバはいつでもチケットを参照，更新することが出来る．チケットはソフトウェア開発において重要なツールであり，これによって，プロジェクトのスコープや進捗の管理，プロジェクトメンバの管理が効率的に行えると考えられる．

1. 研究目的

チケットがどのようにソフトウェア開発プロジェクトで使われ，役立っているのかを調査したい．そのため，最もよく使われているバージョン管理サービスであるGitHubを利用し，GitHubにおけるチケット（Issueと呼ばれる）の使われ方を調査する．具体的には，GitHubで公開されているソフトウェアプロジェクトにおいて，Issueがどのように使われているのか，Issueを中心として開発しているプロジェクトがどのくらい存在するのか，どのようなプロジェクトで使われているのかなどを調査することで， チケットがどのように活用されるかを調査したい．

1. 研究方法
2. チケットが具体的にどのようなものなのか，どのように利用しているのか，どのような利点，欠点があるのか調査する．
3. チケットの使用データを収集するツールを開発する．
4. チケットを利用することで，プロジェクトにどのような影響を与えられるか調査する．
5. 進捗状況

GitHubで公開されているソフトウェアにおいて，チケット（Issue）がどのように利用されるのかを調査中である．

1. 今後の計画

|  |  |
| --- | --- |
| 日程 | 内容 |
| 10月 | 調査対象のデータ決め  データ収集のためのソフト開発 |
| 11月 | データ収集のソフトの開発，検証 |
| 12月 | データの分析，まとめ |
| 1月 | 論文の執筆，発表資料の作成 |

参考文献

[1] 小川明彦, 酒井誠. チケット駆動開発. 翔泳社, 2012-8-23.

[2] Project Management Institute, Inc. プロジェクトマネジメント知識体系ガイド(第4版). PMI, 2009-12.

[3] Jonathan Rasmusson. アジャイルサムライ―達人開発者への道. オーム社, 2011-11-25.

[4] 濱野純, 入門Git, 秀和システム, 2009-9-25.

[5] 片岡巌, WEB+DB PRESS Vol.69, 技術評論社, 2012-7-25.

「為」を漢字にするかかなにするか，統一してください．